

中国・四国地区ブロックセミナー報告



2025年12月13日(土)、岡山市の「ピュアリティまきび」において、中国・四国地区ブロックセミナーを開催しました。本セミナーは、各地域で活動する団体が一堂に会し、情報共有と交流を深めることを目的としており、

今回は7年ぶりの対面開催となりました。

当日は、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、高知の各地から7団体19名が参加。14時に開会し、全国骨髓バンク推進連絡協議会の梅田正造理事長より、全国協議会の活動内容、全国的な骨髓バンクの現状や課題について報告がありました。

その後、各団体より10分程度の活動報告と自己紹介が行われ、啓発イベントの工夫、行政や医療機関との連携、ボランティア確保の課題など、現場の生の声が共有されました。参加者からは「他地域の取り組みを参考にし

たい」「共通の悩みを共有でき心強い」といった声が多く聞かれ、有意義な意見交換の場となりました。

質疑応答では、若年層への普及啓発の方法や、SNSの活用、後継者育成など、今後の活動の方向性について活発な議論が交わされました。最後に「骨髓バンクを支援する山口の会」猶克実会長の挨拶で締めくくられ、セミナー後の懇親会では地域や世代を越えた交流がさらに深まりました。

本セミナーは、各団体が直面する課題を共有し、互いに学び合う貴重な機会となり、今後の中国・四国地区全体の活動活性化につながる有意義な一日となりました。

(中国・四国地区担当理事 山口明大)

登録説明員・移植医療者交流フォーラム開催



2025年11月27日(木)、岐阜市民病院サルビアホールで「広がる命のバトン」骨髓ドナー登録説明員・移植医療者交流フォーラムが開催されました。

これまで、骨髓ドナー登録活動はボランティアによる地道な活動によって行われているが、医療関係者にとってはこのことを知る機会がなかったため、白血病の治療を担う医療者とボランティア等がお互いを理解する企画として、岐阜地区造血幹細胞移植地域拠点病院セミナー・地域がん診療連携拠点病院・骨髓ドナー説明員養成研修として開催されたものです。

初めに野田聖子衆議院議員からは、これまで党派を超えた議員連盟として患者さんを支えてきてたことの紹介と、当フォーラム参加者への熱い思いを伝えていただきました。

続くフォーラムでは、一般講演として①「岐阜県の移植治療の現状」②「岐阜県の骨髓バンクドナー登録活動状況

と課題」③「病院ではバンクドナーにこのように提供いただきます」④「説明員かつ移植を受けた患者の立場からの報告」を、岐阜大学医学部附属病院及び岐阜市民病院の医師さらにボランティアが行いました。

特別講演では「日本の骨髓バンク始まりの頃」として全国協議会副会長の大谷貴子さんから、これまでに至る経緯に続いて、移植後の妊娠・出産についてはまさに「命のバトン」の受け渡しについてのお話でした。

それに続く意見交換会では大谷副会長、岐阜県健康福祉部保健医療課の今橋課長補佐、岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科中村医師、岐阜市民病院小児科横山副部長、岐阜市民病院血液内科山口医師、移植医療を受けた骨髓ドナー登録説明員の服部さん、岐阜市民病院HCTC(移植コーディネーター)の岡田さん、小児HCTCの小川さんにそれぞれの立場から意見発表がありました。特に骨髓バンクドナーには公休を求めているが、家族間で子どもがドナーになった場合に課題があること、また災害時での広域連携について、さらには緊急時の備えとして移植手帳についての意見が出されました。また、骨髓ドナー募集については、ボランティアのみでの活動となっているが、命を担う立場としては公的な立

場を補助するボランティアでありたいとの要望もありました。

さらに、会場には県立多治見病院の医師も参加され、多治見病院でも移植医療が行われるようになり、これまで岐阜大学と岐阜市民病院のみでしたが、今後は3病院体制での治療が行われるとの発言もありました。

現地で78人、WEBで66人と総勢144人の参加があり、その内訳は勤務医、開業医、検査技師、管理栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、HCTC、CRC(治験コーディネーター)、行政、ボランティアと多彩で、お互いを理解しあうセミナーであったと思います。

セミナー後の懇親会では、調整医師や病院の事務局も加わるなど、さらに深掘りした有意義な意見交換が行われました。(岐阜骨髓献血希望者を募る会

会長 田中重勝)

チャリティー春待ちコンサート開催

北海道骨髓バンク推進協会は、今年も恒例の骨髓バンクチャリティー「春待ちコンサート」を開催します。今年度は、札幌交響楽団コンサートマスターの田島高宏さんをお迎えします

田島高宏・田島ゆみ春待ちコンサート
～骨髓バンクチャリティー～

・3月13日(金) 18:30会場 19:00開演
・札幌コンサートホール Kitara
(札幌市中央区中島公園1番15号)
・全席自由席 2,000円(未就学児不可)

兵庫さい帯血バンクの運営危機にご支援を

2025年12月9日(火)神戸新聞第一面に衝撃的な記事が掲載されました。「発足30年、白血病治療に貢献兵庫さい帯血バンク存続危機」という見出しで、医療資材等の高騰が響き、大幅赤字との内容です。

この記事を読み全国協議会でも何かできないかと検討し、12月24日(水)午前、兵庫さい帯血バンク多田昌史事務局長と、全国協議会若木副理事長他スタッフとでWeb会議を行い意見交換をしました。全国協議会からはクラウドファンディングをお勧めし、全国協議会での過去の実績等をお話しました。患者さんを救うという目的が同じ

であることから相互に助け合うことも確認しました。また同日の午後「全国協議会ニュース」編集担当の山村が同バンク事務局(神戸市)を訪ね多田事務局長と面談しました。

多田氏からは2024年度2900万円の赤字計上の原因や背景等の説明があ

2024年度兵庫さい帯血バンクの 臍帯血保存・提供数の実績

提携する兵庫県内21産科医療施設における出生数	11,219人
採取数	3,581本
受入数	1,117本
保存数	421本
移植提供数	205本
採取数に対する保存率	11.7%

臍帯血の精製と保存



血漿層(血漿・有核細胞)と血球層(赤血球)を分離



調製した臍帯血を液体窒素タンクへ保存

り、単独での自助努力では限界があると感じました。臍帯血移植の件数が骨髄移植を上回り、需要が増えている現状で供給側が経営難になることは、患者さんの救命に関わるので、緊急かつ手厚い支援が必要だと思います。

(全国協議会 副理事長 山村詔一郎)

兵庫さい帯血バンクからのお願い

移植に用いられる保存臍帯血は、採取されたうちのわずかに約10%にとどまり、残りは基準を満たさず廃棄されますが、その過程でも人件費や検査費など多額の経費が発生し、採取数を増やすほどコストも増加します。一方、国の補助金には限りがあり、移植時に支払われる臍帯血管理料も長年据え置かれています。

こうした構造的課題がさい帯血バンクの財務危機の一因となっており、今後の持続可能で安定的な臍帯血供給体制の確立には、国や関係機関、移植医療に関わる皆様のご理解とご協力が不可欠でありますので、どうぞご支援のほど宜しくお願いいたします。

寄付などのお問い合わせは
認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク
☎ 078-221-0280 または
houjin_uneibu@saitaiketu.org
までお願いします。

AYAweek2026 開催



3月7日(土)から3月15日(日)まで「誰もが生きやすい明日へ〜ともに考えよう、AYA世代とがん〜」と題し、AYAweek2026(主催:一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会、AYAweek2026実行

委員会)が開催されます。AYA世代とは15~39歳を指し、人生の中で多くの変化を体験する年代。その世代のがんについて多くの方に関心を持ってもらうよう情報発信を行います。誰もが“自分事”として考え、学びたい人が学び、働きたい人が働き、子どもを持ちたい人が子どもを持つ。

がんがあっても大事なことをあきら

めなくてよいような社会を創るため、みんなが理解を深める1週間。皆様のお近くで、オンラインで、さまざまな企画が準備されています。3月7日(土)には、東京・大阪・福岡で大交流会が開催されます。是非ご参加ください。

詳しくはこちら
AYAweek2026
<https://ayaweek.jp/>



基金給付を受けた方からの メッセージ

佐藤きち子記念
造血細胞移植患者支援基金

この度は助成をしていただいて本当にありがとうございます。まさか我が子が病気になるなんて…。とてもショッキングな事態になり思考と感情がとても複雑な状況の中、これからの

こと、費用のこと、生活のこと、何よりも我が子達のことを一度に考え、やるべきことをやっていくしかない。そんな風にひとりで抱え込んでしまっていた時にソーシャルワーカーの方からこちらの制度のお話を聞かせていただいて「ひとりで頑張らなくて良いんだ。子どものことに専念して良いんだ」と、とてもホッとしたのを覚えています。

当時は必死でしたのでとにかく感謝

の想いでいっぱいでした。ですが少し時間が経ち改めてこの制度について考えるようになり、今はまだ厳しい状況ではありますが、いつか娘が完治して私も普通に働けるようになり金銭的にも心にも余裕ができたときに、今回救っていただいたように、苦しんでいる誰かの力になれたらと思っています。本当に本当にありがとうございます。

(関東地方在住 患者さんのお母様)



埼玉
**首都圏3カ所で
 チャリティーコンサート**



毎年恒例のチャリティーコンサートが、2025年11月23日(日)東京、11月24日(月祝)千葉で開催され、埼玉連絡会は、11月29日(土)に32回目を迎えた骨髄バンクチャリティーコンサート「ピアノ三重奏の調べ」を日本バプテスト浦和キリスト教会で開きました。

会場にはスタッフを含めると110名を超える参加者があり、初めてという方が多かったのが嬉しい出来事でした。また、当日のプログラムは次のとおりですが、演奏後のアンケートには「情熱的な演奏に感動した」との感想がたくさん寄せられました。
 (埼玉骨髄バンク推進連絡会 笠原慶一)

千葉
**チャリティーコンサートの
 贈呈式に参加**



12月7日(日)、千葉市中央区の中村学園で千葉ゆうきのライオンズクラブ主催のチャリティーコンサートが開催され、全国骨髄バンク推進連絡協議会を含む4団体が招かれ各々に寄付金が贈呈されました。

「千葉ゆうきのライオンズクラブ」は、千葉市内7クラブの内唯一女性だけのライオンズクラブです。主な活動は青少年スポーツ支援、薬物乱用防止教室の開催、各種福祉事業団体支援で

【プログラム】

◆演奏

- ・ブラームス：ハンガリー舞曲第6番二長調
- ・徳備康純：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲「風に…」
- ・ショパン：バラード第1番ト短調 作品23

◆骨髄バンクミニシンポジウム

「コンサート記念作品『風に…』に込めた思い」
 =徳備康純さんに聞く=

◆演奏

- ・チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲イ短調作品50
 「偉大な芸術家の思い出に」

チャリティーコンサートへの思い

昨秋も、骨髄バンクチャリティー「ピアノ三重奏コンサート」が、東京・千葉・埼玉の一都二県で盛大に行われました。神奈川でも春に鎌倉・円覚寺で開催されるので、毎年4つのコンサートがもう30年以上続いています。親友のピアニスト・金井いづみさんがヨーロッパで白血病に罹ったのは1989年のことでした。それはまさに日本でも骨髄バンクが立ち上がる頃

で、異国で孤立無縁の不安な日々を過ごしていた私達にとっての希望でした。なかなか普及が進まない発足当時は九州・沖縄・新潟・福島でも開催し、全国のボランティアの皆様の情熱や実行力、あたたかいお人柄に触れ、勇気づけられました。願い叶わず金井さんは亡くなりましたが、皆様に支えられてこのコンサートは毎年続けられ、現在に至ります。

いつもドナーと提供を受けた元患者によるトーク等、感動的なのですが、今年は特に素晴らしいことがありました。作曲家・徳備康純さんによる骨髄バンクのための新曲「風に…」を、来場の皆様と体験できたのです。他にも成田市長の応援エール、骨髄提供者の落語家・桂右女助師匠の高座や、ピアニスト高田匡隆さんの9歳になるお嬢さんのプレコンサートでのヴァイオリン披露、千葉・赤十字の皆様が総勢46人で来場くださったり等々、継続のご褒美のような感動が沢山ありました。

今まで長きにわたってご尽力くださった方々に、心より御礼申し上げます。

(ヴァイオリニスト 三戸素子)

す。この一環として今回の贈呈式が行われ、全国協議会の理事長として出席しました。貴重な贈呈金は、血液疾患の患者さん支援に大切にに使わせていただきます。
 コンサートは、3人の演奏者がマリ

ンバ、ピアノ、パーカッションを奏でて、歌もありで、心に沁みる大変素晴らしいものでした。千葉ゆうきのライオンズクラブ様には、心からのお礼を申し上げます。
 (全国協議会 理事長 梅田正造)

心からのご寄付に感謝申し上げます ●12月21日～1月20日(敬称略)

当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般	現金 3,362円	現金 29,102円
株式会社エアネット	現金 3,000円	丹羽病院 現金 4,455円
現金 604,800円	●募金箱	東鴨クリニック 現金 9,065円
三井化学株式会社	株式会社 クスリのアオキ	聖ヨゼフ学園中学・高等学校
現金 200,000円	現金 1,102,046円	現金 32,035円
ちびつとワンコイン	株式会社 マルト商事	●つながる募金
現金 200,000円	現金 42,156円	現金 6,200円
藤波 敬子 現金 10,000円	株式会社 ナルックス	●キモチと。
大橋 洋典 現金 10,000円	現金 23,172円	現金 38,776円
匿名 現金 1,000円	株式会社 フクヤ	●マンスリーサポート
●佐藤きち子造血細胞移植患者支援基金	現金 8,103円	現金 58,000円
骨髄バンク GATHER の会	箱根駅伝宮ノ下募金箱	

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754
 普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
 郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。